



2023年7月26日

各 位

会社名 ホクト株式会社

代表者名 代表取締役社長 水野 雅義

(コード番号 1379 東証プライム市場)

問合せ先 広報・IR 室 前田 哲志

(TEL. 026-259-5955)

(URL <https://www.hokto-kinoko.co.jp/>)

「使用済み培地」を燃料とした電気の活用について

ホクト株式会社（本社：長野県長野市、代表取締役社長：水野 雅義。以下、「当社」）は、当社の目指す「未来を笑顔に」を実現するため、SDGs「4 つの取り組みテーマ」と、それぞれの重点活動を定めております。

このたび、テーマの 1 つである「環境にやさしい“ホクトの仕事“の確立を目指して」に貢献する取り組みとして、キノコの使用済み培地を燃料とした電気を活用いたしますので、お知らせいたします。

当社は、三重きのこセンター（三重県多気郡多気町）でキノコを生産した後に発生する「使用済み培地」を有効利用するため、2021年7月に、パワーエイド三重合同会社（本社：三重県松阪市、代表社員：バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社）に参画し、使用済み培地や木材チップ等によるバイオマス発電所の建設を検討してまいりました。

2023年3月には、当発電所（名称：パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所）の建設を決定するとともに、発電所からの電気を三重きのこセンターにて使用するため、中部電力ミライズとオフサイト PPA サービス※契約を締結し、当社独自のスキームとなる「サーキュラーエコノミー生産モデル」を構築いたしました。

※敷地外に設置した専用の発電所から、電力系統設備を介して電気を供給するサービス

このスキームは、当社の二酸化炭素排出量を年間で 5,700 トン削減することに貢献する見込みです。

また、当発電所は 2025 年 1 月から稼働を開始する予定で、本日、発電所の運営および工事に関する皆さまとともに地鎮祭を執り行いました。

当社は、脱炭素化による地球環境の保全を目指し、今後も、資源循環とエネルギー循環を両立する環境に配慮した持続可能なキノコ生産に取り組んでまいります。

パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電事業の概要

運営会社／設立年月日	パワーエイド三重合同会社／2021年7月21日
代表社員／職務執行者	バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社／西川 弘純
会社URL	https://www.power-aid-group.co.jp/
事業所	(本店) 三重県松阪市小片野町 1751 番地 1 ※三重エネウッド株式会社内 (発電所) 三重県松阪市木の郷町 24 番地 ※ウッドピア松阪内
社員	三重エネウッド株式会社、大成産業有限会社、株式会社松田石油、ホクト株式会社、RE 諏訪湖株式会社、バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社
発電出力	1,990kW
使用燃料	当社三重きのことセンターから排出される廃菌床（使用済み培地）、中部圏の近隣から排出されるリサイクル木材チップおよび RPF
商業運転開始	2025年1月（予定）

参考

当社のSDGs「4つの取り組みテーマ」と、それぞれの重点活動について
[SDGs への取り組み | ホクト株式会社 \(hokto-kinoko.co.jp\)](https://www.hokto-kinoko.co.jp/sdgs)

以上